

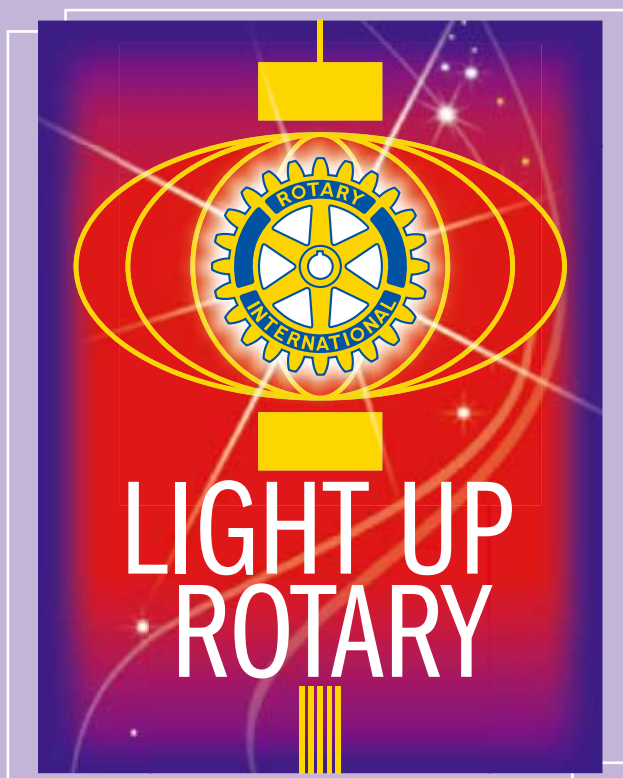
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2014—2015 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

ガバナー月信 **10**月号

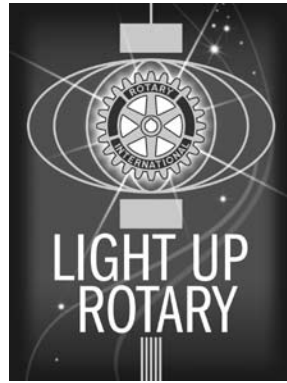
Vol.

4



国際ロータリー 第2660地区
2014—2015年度ガバナー

泉 博朗



2014-2015 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 10月号

CONTENTS

Vol.4

ガバナーメッセージ（職業奉仕および米山月間）	1
職業奉仕月間に当たり	2
米山月間によせて	3
クラブ国際奉仕委員長会議 報告	4
クラブ社会奉仕委員長会議 報告	5
少年少女ニコニコキャンプ 報告	6
インターアクト海外研修 報告	7
若手ロータリアン研修セミナー・交流会 報告	8
カンボジアICU医療機器贈呈 報告	9
地区ロータリー財団セミナー報告と財団情報	10
コーディネーターニュース	12
ロータリー公共イメージの推進	13
米山奨学委員会／ロータリー財団	14
2014年8月度 会員数・出席報告	16
文庫通信	17
地区組織図	18
敬弔／お知らせ	20

職業奉仕および米山月間

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

泉 博朗

(大阪帝塚山RC)



職業奉仕について

職業奉仕は「職業をもって奉仕する」ということです。職業奉仕における、職業という意味は「天職」と言われています。仕事がある、お金を儲けているということだけではなく、社会における「位置づけ」と考えた方がよいのではないのでしょうか。NPOに属されている方々や、社会に奉仕されている方々、退職されたが、その職業をもって社会に役立てたいと思っておられる方々、つまり、社会とかかわりを持っている方々、かかわりを持ちたいと思っておられる方々が天から与えられた「位置づけ」いわゆる「天職」と考えた方がよいのではないのでしょうか。であるならば、職業奉仕は、私たちの人生そのものではないのでしょうか。天職を全うすることが世の中に対する奉仕となる、その指針は「4つのテスト」であり、「最も奉仕する者、最も報われる」という言葉ではないのでしょうか。あなたが持っている「技術」、「知識」、「経験」、「資産」、「人材」、「資材」等を「奉仕の心」で商品にし、形（例えば出前授業のような）にし、社会に提供する、そして利潤や感動を得てさらに提供し、新たな商品や形を開発する、残った利潤で自身や従業員たちの家族を養い、次世代へと繋げる、奉仕で得た感動を次世代へと繋げる、さらに利潤や感動を「奉仕活動」、「寄付」として社会に還元し、そして、恵まれな

い人々や地域へ貢献するというサイクル、これは、まさにロータリーの活動であり、あなたの人生そのものではないのでしょうか。

米山奨学制度について

米山奨学制度は、日本のロータリー独自の奉仕活動であります。RIに認定された制度であります。日本に留学している学生を支援する活動でありまして、皆様のご寄付を集約し、スポンサークラブを通じて、奨学金を提供する制度であります。クラブを通じることにより、お互いに顔の見える奨学制度であります。奨学生とは常に交流でき、しかもクラブの負担のない効果的な奉仕活動であります。特に台湾におきましては目覚ましい成果が上がっています。台湾では、米山学友（元米山奨学生）たちが、日本人に対し同じような奨学制度を始めました。また台湾にはパストガバナーを初めとして多くの米山学友の方々がおられます。そのことは、あの東日本大震災に多大な支援金をいただいたことから、あらためて認識することができました。また各国に米山学友が結束して米山学友会が結成されています。このように多感な青年時代を日本で米山奨学生として過ごしたことが、日本への良い思い出として残っていることは国際親善に大きく貢献しているのではないのでしょうか。

職業奉仕月間に当たり 今こそ実践へ

職業奉仕委員会 委員長

北川 忠嗣

(東大阪東RC)



今年度、泉ガバナーは「地区方針として一人一人の輝きであなたの地域を輝かそう」で、それぞれの地域に密着した奉仕活動といわれています。

ロータリーの目的は、ロータリアン一人一人が個人として、職業人として、職業生活の中で地域社会の一員として、常に職業を通して地域社会に貢献しなければなりません。

委員会では地域社会の貢献の一つとして、ロータリアンの職業を生かし学校教育への貢献のお手伝いが出来ます様、ここ10年来出前授業・職業体験学習を中心とした奉仕活動を進めています。それはロータリアン各人の職業観に基づき、生徒たちに職業哲学を伝えるという点において職業奉仕の考え方に近いという事から、当委員会にて実施しています。

又「ロータリーは人づくりである」という人を育てるという考えのもと、内なる人づくり(人生の道場であるといわれている例会及び各種フォーラム・炉辺会合等におけるロータリアンの人づくり)とロータリアン以外の外なる人づくり(青少年・米山奨学生・出前授業・職場体験学習等)、将来のロータリアンへの育成も考えています。

最終的には自分づくりでもあります。

[本年度の地区職業奉仕委員会の方針]

- ①職業奉仕月間において、クラブ委員長自らが卓話をして頂き、その後フォーラムの実施をして頂く。必要であればその為の資料は準備します。
- ②各クラブから事業計画についてのアンケートを集約させて頂き、それを精査。委員長会議等にてフィードバックします。
- ③出前授業・職場体験学習を更に推進し、現在計画中又計画されるクラブに対し意見交換させて頂く場を持ちたいと思います。実施に対しては、必要であれば、十分なサポートを行いたいと思います。学校年度とロータリアン年度とのずれがありますので、継続性を持ち考える事が大切であります。
- ④皆様方のクラブにおいて、会員の皆様が職業について話す機会(5から10分)を持って頂ければと思います(成功・失敗談も含めて)。

米山月間によせて

米山奨学委員会 委員長

近藤 菜穂子

(大阪ネクストRC)



平素は米山奨学事業に対して多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

米山奨学事業は将来、母国と日本の架け橋となって国際社会で活躍する優秀な学生を奨学することを目的としています。最近では日本で就労しながら母国と関わり、活躍する奨学生もいます。また、米山奨学会は60年の歴史を持つ日本独自の国際奨学事業でもあります。

そして、国際ロータリーが認める日本唯一の「他地区合同奉仕活動」となり日本最大の民間国際奨学事業として現在に至っています。

しかしながら、奨学生の採用数が年々減っており今年も724名の奨学生採用となりました。当地区でも45クラブのご希望をいただいておりますが、20クラブほどお断りすることになり誠に残念でなりません。将来的ビジョンとしましては、全てのクラブに奨学生をご紹介したいと望んでおりますが、現況ではまずご希望下さる全てのクラブに奨学生をご紹介できるようにしたいと考えます。そのためにも、本年度も一人当たり30000円の寄付金目標とさせていただきます。そして、一人でも多くのロータリアンに

米山奨学事業のファンになっていただくために推薦大学制度の充実を考えています。

当地区は47の指定有資格校に恵まれていますので、優秀な留学生をしっかりと見極めるよう努めたいと思います。私はこの米山奨学事業は国際人材育成事業と考えております。1~2年間の期間でロータリアンと共に学び合い、様々な機会や体験を通して感動し、自己成長できる場であると思います。そして、奨学生と関わっていただく多くのロータリアンのご支援や温かいご指導を受けたことにより、奉仕の精神を感じ取って国際社会に羽ばたいて活躍しています。

私たちロータリアンも奨学生には見返りを求めることなく、受けた奉仕の精神を次世代に繋いでいってほしいと切に願います。幸い、奨学生を終了した学友会という組織がありロータリーに何か貢献できないかと考えています。

外国人留学生支援・交流を通じて国を超えた信頼関係を築き世界の平和を願っている心を育てるといふ米山奨学事業に更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

第1回

クラブ国際奉仕委員長会議 報告

国際奉仕委員会 委員長 **安井一男**

(新大阪RC)

2014年8月23日(土) 9:30~11:30 大阪薬業年金会館に、泉ガバナー、各クラブの国際奉仕委員長、関係者、約80名のご出席により開催しました。

以下の5つの議題で会議が進められました。

①海外でのロータリークラブの人道的国際奉仕プロジェクトの必要性、重要性の認識

タイ王国大阪副総領事のウライワン・クーハプレマさんに講演をお願いしました。最新のタイ国内の政治と経済の状況、社会問題としての所得格差、地域格差、子供の教育、医療や福祉の問題を取り上げ、これまでの第2660地区のロータリー奉仕活動を高く評価、また感謝の言葉もあり、引き続きの活動に大変期待していると要請がありました。



②他のクラブの国際奉仕の活動を知りプロジェクト参画への参考とする

タイ王国でのこれまでの奉仕活動の実績と、昨年度実施の「タイ語/英語辞書寄贈による中高生英語能力向上プロジェクト」について、大阪心斎橋RC国際奉仕委員長 井村周平さんの講演。



現在進行中のカンボジアでの活動として「グラフィス診療所のリハビリ棟の増築と理学療法士の育成プロジェクト、グローバル補助金申請に関する注意点」について、茨木西RC会長 宮里唯子さんの講演。



③国際ロータリーシドニー世界大会参加報告とサンパウロ大会への勧誘

2014年6月1日~6月4日開催のシドニー世界大会の参加報告と、2015年6月6日~6月9日開催のブラジル・サンパウロ世界大会の案内と勧誘について、地区国際奉仕副委員長 糸川千恵子さんの講演。



④海外RCクラブとの交流の素晴らしさと意義について

シドニー世界大会での、海外クラブとの交流事例として、現地シドニーコープRCとの交流を紹介。その素晴らしさと意義について、大阪アーバンRC国際奉仕委員長 中島央雄さんの講演。



⑤今年度の地区財団活動資金(DDF)について

地区予算とその使用ルール、今年度の国際奉仕基金の取扱い、次回の会議開催の日程(2015年1月24日)等を、地区国際奉仕委員長 安井一男より報告。

最後に、国際奉仕部門顧問、横山守雄PGの講評により閉会いたしました。

第1回

クラブ社会奉仕委員長会議 報告

社会奉仕委員会 委員長 脇 隆俊

(大阪御堂筋本町RC)

2014年8月9日(土) 10:30~12:30 薬業年金会館301号室において、第1回クラブ社会奉仕委員長会議を開催しました。当日は台風が近づく中でございましたが、クラブ社会奉仕委員長および地区関係者78名のご出席を頂きました。

今回の会議は、地域的社会奉仕における情報をお伝えすることを主たる目的とし、各方面の団体の方々からご講演を頂き、各クラブの活動のヒントや参考にしていただければと考えました。

講演は以下の3つです。

1. 「大阪湾再生に向けた取り組みについて

～多様な主体との連携・協働～

国土交通省 近畿地方整備局企画部
技術企画官 藤原敏晴様

地区委員会が昨年度から、環境活動のなかでとくに水環境という視点に立って取り組み始めた議題であり、『森・川・海のネットワークを通じて、美しく親しみやすい豊かな「魚庭(なにわ)の海」を回復し、市民が誇りうる「大阪湾」を創出する』を目的とした大阪湾再生行動計画は、第二期(平成26年度から平成35年度の10年間)に入り、取り組み体制として多様な主体との連携・協働を推進していくことを目指します。市民参画による「生き物一斉調査」をはじめ、市民参画による取り組みは、環境再生、環境学習、水辺に親しむ企画など、多くの活動が行われています。そのなかのひとつである「大和川・石川クリーン作戦」が平成27年3月1日(日)午前中に開催されます。この活動に、第2660地区として参画を現在計画中です。それ以外にも多くの活動が行われていますので、以下のサイトをご覧ください。

●大阪湾再生推進会議

<http://www.kkr.mlit.go.jp/plan/suishin/>

また、卓話を希望されるクラブは、ガバナー事務所までお問い合わせください。

2. 「大阪府における薬物乱用防止について」

大阪府健康医療部薬務課麻薬毒劇物グループ
栗原洋子様

大阪府における薬物乱用の現状について、過去からの検挙者件数の推移、また覚せい剤、大麻、危険ドラッグ使用の年齢比率や再犯率などを、説明して頂きました。現在、特に問題になっている危険ドラッグの販売店の様子や件数、取り締まり状況なども具体的に説明して頂きました。平成26年度の大阪府「ダメ。ゼッタイ。」普及運動は街頭キャンペーン、広報機関等による啓発宣伝、官民一体、教育関係機関への協力の呼びかけを6月20日～7月19日に実施されました。「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の募金における昨年度結果を報告し、本年度の募金に協力を依頼しました。

3. 「献血の現状」

大阪府赤十字血液センター献血推進一部推進課
推進課長 安原武志様

地区内の多数のクラブが、地域社会奉仕活動として取り組んでいる献血活動につきまして、その歴史や献血の種類、採血基準の主なもの、年代別献血状況、献血者推移、400ml献血の有用性など、献血における広範囲な講演をしていただきました。大変熱意あふれる講演でした。

そのあと、7月20日(日)に行いました、ロータリーファミリーによる第1回地区献血の報告を、地区社会奉仕委員会中嶋 秀貴副委員長から、献血場所での活動状況の写真を見ながら報告があり、地区社会奉仕部門担当顧問より、総括として各講演とロータリーの関わりについて、また各クラブの社会奉仕活動の重要性を説明頂き、第1回クラブ社会奉仕委員長会議を終了しました。

地区委員会として、各クラブの社会奉仕活動がより効果的に、また充実したものになるように努力してまいります。引き続き、各クラブのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

2014～2015年度 少年少女ニコニコキャンプ 報告

青少年活動委員会 委員長 **井上善博**
(東大阪みどりRC)

子供達が見せる自然の表情を目の当たりにするのは、大変楽しいものです! 特に、満面の笑みをされると大人のこちらまで、嬉しくなってしまうものです! 文字通りニコニコになることを目標とした、キャンプが今年も実施されました。ホストクラブは大阪西南RCさんと西南RACさんで8月1日～3日まで、場所は大阪府立青少年海洋センターでの「海の」キャンプでした。

参加した65名の小学4～6年生達は、リーガロイヤルホテルでの開講式では、保護者の皆様に見守られながら、不安そうな硬い表情でした。

今回のメインテーマは海の楽しさ・厳しさを学びながら「仲間との絆」を築くことだったので、小学生達には少々肉体的にハードなプログラムでした。(RACのメンバー達はもっとハードでしたが)しかしプログラムを少しずつこなしながら、自然と小学生達もロータリアンもRACメンバーも微笑みが増えていきました。

初日、子供たちは、夕食のカレー作りで一変に緊張がほぐれた様子でした。かぼちゃを刻むのに、ありえない包丁のさばき方を見てひやひやはしましたが、ご飯を炊くのに煙とすすで真っ黒になりながら涙目で動き回る姿と、出来上がったカレーを「ちょっとにんじん固いけど、おいしい〜!」と叫ぶ姿が印象的でした。

二日目、いよいよ海でのプログラム。午前中はカヌーの乗り方をセンターの優しいお姉さんに教わり、

ライフジャケットを着け、早速トライ。二人乗りでパドルを漕ぎ、爽快感を満喫しました。昼からは筏作りの方法をスタッフの方に教わり、紐で木材とタイヤを結び付けて海に浮かべてGO! なかなかスピードはでないものの、水を掛け合いながら競争しました。夜はお待ちかねキャンプファイヤー、という予定が雨にたたられ体育館でキャンドルファイヤーとなりました。チームRYLA・火の神様・怪獣も乱入して? 最後は花火鑑賞と、大盛り上がりでした!

最終日カッターに乗り、へとへとになりながら感想文を書いて、あっという間に修了式。参加された関係者の方々も、部屋全体にわたって充実感・パワー・達成感を、感じて頂いたと思います。なんといつても全日程にわたり、全員最後まで参加でき、怪我も病人も0だったことは、非常に一番嬉しく思います。これも偏に、ホスト様の綿密な準備と情熱のおかげであります。あらためて、西南RCさんと西南RACさん、その他のオールスター RACメンバー、チームRYLA、その他ロータリー関係者の皆様、感謝申し上げます!

打ち上げでも本当に楽しい一夜となりました。その場の全員がニコニコ顔になっているのを見て、あらためて素晴らしい事業だなと感じ、今後も他クラブさんに同じ経験をして頂きたいと思います。ロータリーファミリーが本当に一つになれる数少ない事業なのですから。!(^^)!



地区インターアクト海外研修 報告

インターアクト委員会 委員長 **鮫島武信**
(大阪南RC)

今年のインターアクトクラブの海外研修は、8月5日～8日(3泊4日)の日程で、台湾台北の第3520地区を訪問しました。7クラブの参加となった今年は、インターアクター44名、顧問の先生8名、看護師1名、ロータリアン25名の総勢79名での研修となりました。

[関空での結団式]

結団式は、泉ガバナー、岡部パストガバナー、立野ガバナーエレクトを始めとする多くのロータリアンのご出席を頂き、当番校の大阪桐蔭IAの司会とスピーチなどが行われました。

[第1日目：空港～ホテル]

桃園国際空港に到着後、故宮博物館などを見学し、サントスホテルにチェックインしました。

[第2日目前半：学校訪問]

国立台北商業技術学院を訪問しました。出席者の紹介、第3520地区からは林谷同ガバナー、同学院の張瑞雄学長、盧明珠理事長並びに陳志人地区IA委員長の挨拶、当地区からは泉ガバナーからの親書の代読、地区IA委員長挨拶、地区バナーと記念品の交換などが行われた後、インターアクター達の時間が始まりました。

英文での日台両IAの紹介、日本IAの合唱、日台IAをグループに分けて、グループ内での自己紹介やゲームを行った後に、各自が持ち寄ったプレゼントを交換しました。



[第2日目後半：社会貢献活動とウエルカムパーティ]

台北鉄道駅に移動し、社会貢献活動を行いました。「発票」と呼ばれるレシートを街行く人達から収集箱に入れてもらって、「創世基金会」という福祉事業団体に寄付しました。

台湾側主催のウエルカムパーティが行われ、林谷同3520地区ガバナーからは、今年度中に台湾から日本当地区に訪問を実現したいとの言葉を頂きました。

[第3日目：グループ散策とフェアウルパーティ]

午前中にケーキ工場などを見学した後、午後から日台のIAは、前日のグループに分かれて、市内を自由散策しました。夕刻の日本側主催のパーティでは、当番校を提唱する大東RC高島会長や林華明第3520地区ガバナーエレクトなどの挨拶、台湾の青年達による和太鼓の実演、浪速学院IAによる日舞、日本側IA全員による「ふるさと」の合唱と続き、河内音頭の披露でパーティは大団円を迎え、日台全参加者が踊りの輪に入り、弾ける若いパワーと友情の熱い思いが会場を包むうち、「再見」の言葉を交わし合い会場を去りました。

[第4日目：解団式・帰国]

台北郊外にある九份の山腹から台湾の海と空の青さを楽しんだ後、解団式にて大阪桐蔭IAから相愛学園IAへ団旗の引継が行われました。多くのロータリアン、看護師派遣の住友病院、地区委員並びに事務局など皆様のご支援ご協力の下、全員無事帰国の報告が出来ましたこと、厚く感謝申し上げます。



若手ロータリアン研修セミナーを終えて

クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員長 **福田忠博**
(大阪中之島RC)

8月12日、泉ガバナーの企画により若手ロータリアン研修セミナーが地区のクラブ奉仕・拡大増強委員会、広報委員会、職業奉仕委員会及び地区幹事団の協力の基に、行われました。

若手の研修セミナーの目的は、今後、ロータリーの中核となる若手及び中堅の会員に対して、ロータリーに対する理解度と貢献度の向上を目指し、集中的に研修を行い、その後の懇親会においては、クラブの枠を超え、共に語り合い、交流を図ることによりクラブにおける自身の存在感を感じて頂く事でありませ

す。このようなセミナーは、初めての経験でもあり、参加者の人数について心配しておりましたが、221名の若手ロータリアンに参加頂きました。

セミナーはまず、泉ガバナーの挨拶に始まり、木越正司地区職業奉仕元委員長による、「ロータリーは人づくり」と題して講演が行われました。

その講演は、ロータリーの仕事は、世の中の役に立つ有能な人物を育成することであり、つまり「ロータリーは人づくり」であるということです。

そして、ロータリーが行っている人づくり事業であるロータリーのプログラムや、地区の事業を実践することが世の中の役に立つ有能な人物を作ることになる旨の内容でした。

この講演の主旨が、若手ロータリアンとして知っておくべき事であると納得した様子が見られ有意義な

講演であったと思います。

また、セミナーに関するアンケートを行ったところ、次のような回答を得ました。

1. 同様の主旨の研修会を開催した場合、参加するか？

221名中、数人を除き全ての人が参加するとの回答がありました。

2. 次回の研修会には、何を要望するか？

多様な要望があり主なものを列挙すると

●研修会を主とし、親睦交流を従とすると考える人と親睦交流を主とし、研修会を従とすると考える人がほぼ同数でした。

●親睦交流の場に音楽は不要であると考えた人が多くありました。

●食事は立食形式が良い。

●討論の場が欲しい。

●基本的なロータリー用語のレクチャー。

●泉ガバナーへの質問時間はガバナーを身近に感じ有意義でした。

●各クラブの行っている活動の発表。

その他、多くの意見がありましたが次回にはアンケート結果を企画に生かしたいと思えます。最後に多くの若手ロータリアンにご参加頂き、有難う御座いました。



カンボジアICU医療機器 贈呈プロジェクト記念式典訪問 報告

上場俊哉

(高槻東RC)

2013-2014年度のグローバルグラント(GG)であるカンボジアICU医療機器贈呈プロジェクトの記念式典が8月25日(月)9:00am シムリアップ州立病院で開催され、国際パートナーの幹事役の大阪フレンドRCから栗原直前会長、兼昨年度地区国際奉仕委員長ご夫婦と日本人3名で出席してまいりました。

プロジェクト総額US\$143,624(約1,400万円)の大型プロジェクトで、日本脳炎ワクチンプロジェクト(約500万円)、2年にわたる人工透析機寄贈プロジェクト(約1,000万円)と、4回目のカンボジア・プロジェクトとなりました。

人工透析機寄贈プロジェクト記念式典の際、婦人科病棟移転に伴う空きのスペースに、当時ICU部屋は1床しかなかったものを、ICU病棟にしたいと言う、現地シムリアップ州保険局長からの話をお伺いし、アンコールRCアナ会長、ダイナミック社ホック部長、シムリアップ州保険局長Dr.クロス、栗原直前会長を中心に具体化していったものです。

第2660地区のDDF(補助金)約US\$40,000、第3520地区(台湾)DDF US\$10,000、第2530地区(福島)DDF US\$10,000と大阪フレンド、高槻、高槻東、大阪アーバン、大阪城北、須賀川、台北南徳の7クラブの共同事業として、酸素吸入器10

台、心電図10台、電気ショック機2台、人工呼吸器2台、吸引機10台、移動式レントゲン装置2台、エコー装置2台、ICUベッド2台を寄贈しました。約200名の式典参加者の前に座り、式典が壮大に開催されました。

カンボジアの病院での死亡率トップは、交通事故が原因です。既に稼動し始めている、ICU病棟の見学も特別に許可を頂き、見学することができましたが、まだまだベッドが足りなく、床で寝ている患者さんがいたり、ひどい火傷の患者さんを見たり、我々の今回のプロジェクトは、カンボジアの人たちの命を直接的に助けられていると言う体感をする事ができ、また大変な感謝をされていることも実感できました。

カンボジア国民の45%は年間所得US\$400以下(1日US\$1以下)の貧困層で、当然医療費を払えるわけもなく、亡くなっていく人たちが多く中、こういった公的な病院で、一人でも多くのカンボジアの人たちの、一時的にでも命を助けられる事業ができたことは、誇りに感じました。これは各クラブを始め、高槻東のメンバーの皆様のご協力、ご理解の賜物であると感謝しております。

今年度のGGは、台湾南徳RCからの提案で、台湾を中心とした11地区DDFを使う、総額US\$500,000(約5,000万円)の、壮大な台湾肝臓病撲滅キャンペーンに参加しますが、この4年間築き上げたアンコールRC、ダイナミック社、シムリアップ州保険局長との太いパイプは、地区国際奉仕委員会を通じ、地区内クラブに紹介していき、色々なGGで継続していけるよう進めて行きたいと考えております。



「地区ロータリー財団セミナー報告」と 「財団情報」

ロータリー財団委員会 委員長 **溝畑正信**
(東大阪東RC)

日時：2014年8月30日(土) 14:00～17:00

場所：大阪YMCA会館 2Fホール

地区ロータリー財団セミナーがG主宰で開催されました。クラブの会長、ロータリー財団委員長、奉仕部門担当実務者の皆様を対象に、泉 博朗G、近藤雅臣元RI理事/PG、若林紀男PG、大谷 透地区R財団部門顧問/地区研修委員会サブリーダー/PG、災害支援プロジェクト委員長 福家 宏直前G、立野純三GE、松本進也GN、地区研修委員会、AG、AGEの皆様など多数の指導者のご参加を頂きました。司会は川上富清地区代表幹事が務められました。

泉 博朗 G

本日の地区ロータリー財団セミナーで、クラブ会長、財団委員長、奉仕担当委員長は、寄付の使い方・使い道を学んで頂きたい。昨年度、地区補助金で44件、グローバル補助金では人道分野で10件、奨学金で3件承認された。今年度は地区補助金で38件承認された。全クラブに配分されたとの考え方もできる。年次基金寄付の目標額は最低これくらいお願いしたい、またベネファクターやPHS、メジャードナー、アーチクランフと多額の寄付を頂いている。皆さまの意思が地区、全世界にわたっている。全世界で力を合わせて大きなプロジェクトをするというシステムである。今日財団の勉強をしてクラブに帰って皆さんにお伝え願いたい、と挨拶されました。

ロータリー財団部門顧問 大谷 透 PG

ロータリー財団はロータリアンの奉仕活動の牽引車、エンジンはロータリアン一人一人の寄付。ロータリー財団の健全性は我々にかかっている。熱心さにかかっている。ボランティアの団体なので命令することはできない。それは役職にある人のリーダーシップで、①人々をその気にさせるよう率先しよう、クラブの誰よりもまず自分が寄付しよう。②今年の標語は“ロータリーに輝きを”、まず自分が寄付をして輝いて欲しい、そして人にも輝いてもらうように。③Light up Rotary 財団、その良さ、有意義さをクラブは財

団の基金を役立てるように、と話されました。

ロータリー財団委員会 溝畑正信 委員長

“ロータリー財団の戦略”というタイトルで、まず2014-15年度のロータリー財団の目標であるポリオ撲滅、継続的な寄付、新補助金プログラムの発展、ロータリー平和センター、ロータリー財団の未来の健全性に沿って話しました。

そして、ロータリー財団の長期戦略、年次基金の流れ、第2660地区財団活動資金(DDF)の配分、昨年度のグローバル補助金承認実績の日本、第2660地区について話しました。

ポリオプラス小委員会 木村芳樹 委員長

END POLIO NOWを完遂するためのポリオ撲滅エンドゲーム戦略計画2013-18の2015年までに野生株ポリオの撲滅、2017年までにワクチン由来の感染源対策、2018年地球上からポリオ撲滅宣言への協力を要請致しました。

資金推進小委員会 松下和彦 委員長

“資金推進を考える ロータリーの心をつなぐ”というタイトルで、ロータリー財団の寄付と認証：寄付の種類<年次基金および使途指定寄付、恒久基金>、クラブ別年次寄付一覧、ロータリー財団への寄付は、税制上の優遇措置の対象となることについて話し、財団への寄付増進とロータリーカードへの入会を要請致しました。

ポールハリス・ソサエティ 辻川功一 コーディネーター

ポールハリス・ソサエティは、年次基金、ポリオプラス、財団が承認した補助金プロジェクトへ、年間1,000米ドル以上を寄付頂いたロータリアンやロータリー財団支援者を認証するためのプログラムで、理解と協力を要請致しました。



補助金小委員会 職業研修チーム担当グループ 川本典美 リーダー

VTT FAQで、VTTとは、またVTTの素晴らしい点、地区補助金とグローバル補助金のVTTの違い、実例等について説明致しました。

地区財団資金管理小委員会 片岡利雄 委員長

補助金管理について、クラブ参加資格、補助金管理の責任、財務管理計画、銀行口座に関する要件、補助金資金の使用に関する報告、書類の保管、補助金資金の不正使用に関する報告について説明致しました。

地区補助金小委員会

補助金担当グループ 大野康裕 リーダー

財団補助金制度の概要—地区補助金・グローバル補助金—について、ロータリー財団の使命、財団補助金には地区補助金、グローバル補助金があること、それらの実例、配分額、さらに当地区での地区補助金申請要項、グローバル補助金について、6重点分野、そしてDDF申請要項、地区補助金申請スケジュール(2015年)、地区補助金申請の留意点について報告致しました。

補助金小委員会 奨学金・学友・ロータリー平和フェロシップ担当グループ 阪上博史 リーダー

国際関係、平和研究、紛争解決とその関連分野の修士号、あるいは平和と紛争解決の分野の専門能力修了証の取得を目指す学生にロータリー平和フェロシップを提供するロータリー平和フェロシップ生の募集、およびグローバル補助金奨学生の募集について説明の後、当地区は2013-14年度3名のグローバル奨学生が留学したこと、そして留学し帰国した福田真弓さんを紹介しました。

グローバル奨学生 帰国報告 福田真弓

～Harvard 公衆衛生大学院留学からみえてきた

臨床研究をめぐる我が国の現状と今後の課題～のタイトルで、国立循環器病研究センター 先進医療・治療推進部/脳血管内科医師である福田さんが報告しました。専門的研究でMPH(公衆衛生学修士号)取得のみならず、ロータリーの金銭的、人的サポート、人的交流、ロータリー財団奨学生としての誇りと使命感を持てたことがよかった。ロータリー財団奨学金は未来の日本(世界)を支えるリーダーを育成していく上でも重要な意味を持つと思う、と結びました。

講評・閉会挨拶

立野純三GEは、本日の財団セミナーに携わった財団部門各位に労をねぎらわれ、そしてクラブに対してプロジェクトへのチャレンジと検証をして頂きたい、と講評と閉会の挨拶をされました。

なお、地区ロータリー財団セミナーの詳細は、地区ホームページをご覧ください。

【グローバル補助金申請状況】

2013-14年度の補助金状況です。日本は特に奨学金の申請が多いと言えます。

グローバル補助金

	人道的	奨学金	VTT	合計
世界	655	171	29	855
ゾーン1-3	43	40	5	88
2660地区	7(10)	3	0	10(13)

【ポリオ症例数】

2014年9月2日現在のポリオ症例数です。

	2014年1月1日~9月2日	2013年
アフガニスタン	8	14
パキスタン	117	93
ナイジェリア	6	53
ポリオ常在国以外	18	256
世界合計	149	416

コーディネーターニュース

第3ゾーン ローターリー・コーディネーター

安満良明

(加治木RC)

国際ロータリー第3ゾーンのロータリーコーディネーターの安満良明(あま よしあき)と申します。国際ロータリー第2730地区加治木ロータリークラブ所属です。

私どもは、杉谷国際ロータリー理事(第2720地区玉名ロータリークラブ)のご指導の下、横山守雄(第2660地区大阪中央ロータリークラブ)と大之木精二(第2710地区呉ロータリークラブ)のお二人のロータリーコーディネーターアシスタントと共に、第3ゾーン11地区のロータリークラブの活性化のお手伝いをさせていただきたいと、願っております。具体的には、皆様の地区で開催されます、PETS、地区研修協議会、地区指導者育成セミナー、地区会員増強セミナー、新会員セミナー、地区大会などにお呼びいただき、ロータリー戦略計画の推進と会員増強維持を目的とした、講演などをいたします。

また、もう一つ重要なのは、会員増強や社会奉仕活動に当たって、公共の認知度を高める必要があります。

そのために第3ゾーンロータリー公共イメージ岩永信昭(第2740地区長崎北東ロータリークラブ)コーディネーターがおられます。さらにロータリー公共イメージコーディネーターアシスタントとして、伊藤文利(第2690地区倉吉ロータリークラブ)、高島凱夫(第2660地区大阪中之島)両アシスタントがおられます。そして、杉谷理事の元、ロータリーコーディネーターとロータリー公共イメージと、そのアシスタントの方4名と協力して、10月11日「ロータリー戦略計画推進セミナー」を計画し、すでに第3ゾーン内11地区にご案内してあります。

このセミナーは一方的に指導者の講演や意見を聞くのではなく、それぞれの地区、地区委員会の戦略計画と具体的な実践を出し合っただき、互い

が学び合うことを目的としています。地区によってそれぞれの善し悪しがあり、特性もあり、それらを学び取り、自分の地区やクラブの活性化に役立てていただければと思います。

対象者は、地区ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、ガバナー補佐、地区会員増強委員長、地区公共イメージ並びに広報委員長、社会奉仕委員長、地区戦略計画委員会委員長、他ガバナーの推薦する方々です。

ロータリー戦略計画と聞けば、ほとんどの会員がいかめしく違和感を感じる言葉だといわれます。しかし作戦計画と考えれば、それもなくするような気がします。長期的計画とそれを達成するための短期的計画があり、この短期的計画を確実に実践していくことが大切だと思います。

ロータリーの戦略計画とは、

- 1つは例会や奉仕プロジェクトを通して友情をはぐくみ、国や文化宗教を超えて理解すること。
- 2つは高潔性を持って約束を守り、倫理を守ること。
- 3つに多様性をもって多角的考え方、行動で問題に取り組んでいくこと。
- 4つにリーダーシップをもって職業のスキルをいかし、地域社会の問題に取り組むこと。

とあります。この4つのことを各ロータリークラブの具体的な行動課題とし実践されれば、クラブは活性化されて行くことと思います。

抽象的で分かりにくいかもしれませんが、ロータリーの原点は例会ということです。例会や奉仕プロジェクトに入りて学び、出て奉仕、実践することです。その楽しく学べる例会を提供するのがロータリークラブです。楽しく学んだ会員は、友人を推薦しようと思えます。それが増強と会員維持の原点です。

ロータリー公共イメージの推進

第1ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター

渡辺敏彦

(新潟南RC)

2014年9月2日・3日の2日間に渡り、GETS(ガバナーエレクト研修セミナー)が東京で開催されました。1月の国際協議会に備えての事前研修第1弾ということで、ガバナーエレクトの方々は34名、大変有意義で楽しい(?)丸2日間を過ごされた訳であります。その中の2つのセッションで「公共イメージの向上、推進」が取り上げられています。その内容をかいつまんでご紹介したいと思います。

「ロータリーは意義ある活動を行っているにも関わらず、それが社会に認識されていない!!」という事実から、ロータリーの公共イメージを改善する為に「ロータリー活性化」の取組が始まっています。それは、「リーダーのネットワークへ。アイデアを広げよう。行動しよう。」というロータリーの特徴を簡潔に表現したロータリーのエッセンス。これを土台に、ロータリーを分かりやすく、しかも魅力的にアピールしようとする取り組みであります。

1つ目の大きな柱は、ブランド戦略であります。まずロータリーのロゴが変更されています。2014年1月の国際協議会後に新しく登場したブランドリソースセンターには、ロゴに加えビジュアルアイデンティティのガイドライン、写真・動画等様々な資料や素材が用意されていますので、それを活用し、ブランド戦略を推進頂きたいということです。

2つ目は「ボイス」の活用であります。それは、ロータリーのボイスの特性である4つの事柄(賢明さ、思いやり、粘り強さ、行動を促す力)を意識して、対外的にはロータリー用語を避けて、出来るだけ簡潔な分かり易い言葉で、語りかけるように、相手に魅力的に聞こえる表現にすることです。

上記の「ロータリー活性化の取り組み」を推進するため、ロータリー「戦略的優先項目と目標」があり、その実行部隊としてゾーン毎に地域コーディネーターチームが任命されています。

- クラブのサポートを強化⇒ロータリーコーディネーター(RC)
- 人道的奉仕の重点化を増加⇒ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)
- 公共イメージと認知度の向上⇒ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)

「ロータリーの公共イメージ」を向上させるため、RPICの役割は大きく2つに分けられます。一つは、各ゾーン毎に地区、クラブ、ロータリアンに対して適宜・適切な情報を伝達することです。「PETS」「地区研修協議会」等がありますので、要請があればそれぞれの場に赴き、「公共イメージの向上」に向けた情報提供を積極的に行わせて頂きます。

もう一つは、地区又はクラブの外部(地域社会)に向けた広報活動を効率的、効果的に行う為に必要な情報、方法論を提供することだと認識しております。

地域コーディネーターチームのうち、RPICを下記にご紹介させていただきます。

第1ゾーン 2007-08 RID2560 PDG

渡辺敏彦(新潟南RC)

第2ゾーン 2012-13 RID2620 PDG

高野孫左エ門(甲府RC)

第3ゾーン 2011-12 RID2620 PDG

岩永信昭(長崎北東RC)

米山奨学委員会／ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2014年 7月末	全国寄付金合計額	211,723,212円	(前年度比670万円増)
	第2660地区寄付金合計額	10,961,000円	(前年度比5.52%減)
全国寄付合計トップ10	1. 第2770地区	15,117,000円	6. 第2610地区 9,553,000円
	2. 第2760地区	14,010,000円	7. 第2580地区 9,201,250円
	3. 第2650地区	12,518,284円	8. 第2790地区 8,897,900円
	4. 第2750地区	11,463,770円	9. 第2710地区 8,482,000円
	5. 第2660地区	10,961,000円	10. 第2690地区 8,459,500円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました(2014年7月)。

氏名	回数	クラブ名
中小路悦子	3回目	茨木西RC
野地 龍夫	6回目	茨木西RC
西邨 智雄	10回目	香里園RC
吉馴 茂子	11回目	大阪アーバンRC
南賀 勝之	2回目	大阪城南RC

氏名	回数	クラブ名
吉田 悦治	3回目	大阪大淀RC
杉村 章二	4回目	大阪大淀RC
田中 隆弥	4回目	池田くれはRC
寺西 太一	5回目	東大阪東RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました(2014年7月)。

クラブ名	回数
大阪アーバンRC	1回目
大阪ユニバーサルシティRC	3回目

米山功労法人

次の方に米山功労法人の称号が贈られました(2014年7月)。

会社名	表彰名	クラブ名
花谷建設(株)	米山特別功労法人 第1回	大阪ユニバーサルシティRC
(株)フジモト工芸	米山功労法人	東大阪東RC

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました(2014年7月)。

氏名	クラブ名
加藤 眞一	茨木RC
西條 壽一	茨木RC
土方 慶之	茨木RC

氏名	クラブ名
岩元 大輔	大阪大淀RC
細水 總夫	大阪大淀RC
加登 隆三	大阪大淀RC

氏名	クラブ名
柳川 重昌	大阪東RC

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにマルチプル・ポール・ハリス・フェローです(2014年7月)。

氏名	回数	クラブ名
上堀 博三	2回目	大阪城北RC
三好千代子	2回目	茨木RC
大森 慈祥	7回目	茨木RC
木本 保平	3回目	茨木RC
辻 壽	2回目	大阪なにわRC
吉川 仁育	2回目	大阪なにわRC
吉田 悦治	1回目	大阪大淀RC
遠越 英行	1回目	大阪大淀RC
岩本 潤三	5回目	大阪大淀RC
浅井 清彦	1回目	大阪大淀RC
内山 雅史	1回目	大阪大淀RC
長谷川眞哲	2回目	大阪大淀RC
菊川 起男	3回目	大阪大淀RC
末岡 稔啓	2回目	大阪大淀RC

氏名	回数	クラブ名
岡村 雄二	1回目	大阪大淀RC
溝畑 正信	7回目	東大阪東RC
寺西 太一	5回目	東大阪東RC
角谷 真枝	2回目	茨木西RC
野地 龍夫	4回目	茨木西RC
宮里 唯子	4回目	茨木西RC
入船 禎三	3回目	大阪東RC
橋山 宗弘	3回目	大阪東RC
古市 仁	3回目	大阪西北RC
富島 俊治	1回目	大阪西北RC
高林 辰行	5回目	大阪西北RC
勝亦 良彰	3回目	大阪西北RC
隅防 嘉之	4回目	大阪西北RC

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました(2014年7月)。

氏名	クラブ名
金高 好伸	大阪大手前RC
天野 正亮	東大阪東RC

2014年8月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	8月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第 1 組	池田	36	37	2	1	0	1	3	63.81	57.14
	池田くれは	28	28	1	0	0	0	3	89.22	82.94
	箕面	28	28	3	0	0	0	3	83.27	80.27
	箕面千里中央	23	23	0	0	0	0	4	95.11	92.50
	豊中	43	43	3	0	0	0	3	87.87	75.80
	豊中南	27	27	2	0	0	0	3	82.28	75.20
	豊中千里	35	35	3	1	1	0	4	86.72	80.90
	小計	220	221	14	2	1	1		84.04	77.82
I M 第 2 組	茨木	26	26	3	0	0	0	3	95.87	84.83
	茨木東	41	41	4	0	0	0	3	85.08	66.66
	茨木西	27	27	6	0	0	0	3	91.36	88.00
	千里	36	36	0	0	0	0	3	87.96	80.11
	千里メイプル	21	22	2	1	0	1	3	93.55	90.32
	摂津	33	35	1	2	0	2	4	90.14	76.80
	吹田	60	61	10	1	0	1	3	97.62	89.88
	吹田江坂	32	35	2	3	0	3	3	97.95	87.84
	吹田西	47	47	2	0	0	0	3	100.00	89.13
	高槻	45	48	5	3	0	3	3	91.24	84.65
	高槻東	38	38	2	0	0	0	4	95.72	91.48
	高槻西	21	21	0	0	0	0	3	98.41	82.54
小計	427	437	37	10	0	10		93.74	84.35	
I M 第 3 組	大東	39	40	0	1	0	1	3	100.00	83.92
	大東中央	27	27	11	0	0	0	3	84.47	63.17
	枚方	43	45	0	2	0	2	3	89.69	81.05
	門真	31	32	6	1	0	1	3	97.85	80.65
	交野	33	33	1	0	0	0	3	83.34	77.09
	香里園	16	19	1	3	0	3	3	96.07	88.44
	くずは	49	52	0	3	0	3	3	82.32	73.59
	守口	41	41	4	0	0	0	3	84.81	76.35
	守口イブニング	27	27	4	0	0	0	3	85.19	74.07
	寝屋川	43	43	5	0	0	0	4	93.61	83.14
	四條畷	12	12	0	0	0	0	3	93.94	93.94
小計	361	371	32	10	0	10		90.12	79.58	
I M 第 4 組	東大阪	73	74	0	1	0	1	3	92.23	79.59
	東大阪中央	27	28	0	1	0	1	3	92.20	89.64
	東大阪東	60	62	4	2	0	2	3	87.10	76.91
	東大阪みどり	27	27	0	0	0	0	3	79.01	71.60
	東大阪西	31	32	0	1	0	1	3	97.48	79.68
	大阪柏原	31	31	2	0	0	0	3	84.94	82.79
	大阪ネクスト	18	18	8	0	0	0	3	57.41	35.19
	八尾	59	60	0	1	0	1	3	79.36	71.64
	八尾中央	16	16	0	0	0	0	3	87.91	78.02
	八尾東	25	25	1	0	0	0	4	70.77	66.04
	小計	367	373	15	6	0	6		82.84	73.11

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	8月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率	
			全員	女性							
I M 第 5 組	大阪中央	46	50	6	4	0	4	3	86.67	75.56	
	大阪堂島	31	31	2	0	0	0	3	91.95	82.75	
	大阪北	188	193	0	5	0	5	3	81.48	66.23	
	大阪北梅田	50	56	5	6	0	6	3	77.38	69.64	
	大阪西	75	76	0	1	0	1	3	81.10	76.24	
	大阪大淀	38	38	0	0	0	0	2	95.16	87.10	
	大阪リバーサイド	35	35	6	0	0	0	3	90.33	73.84	
	大阪西北	49	49	0	0	0	0	3	91.16	83.21	
	大阪そねざき	42	43	24	1	0	1	3	81.97	72.13	
	大阪梅田	20	23	1	3	0	3	2	90.48	83.87	
	大阪梅田東	34	36	0	2	0	2	4	88.20	71.52	
	大阪ユニバーサルシティ	35	35	5	0	0	0	3	82.83	75.76	
	小計	643	665	49	22	0	22		86.56	76.49	
	I M 第 6 組	大阪	261	264	1	5	2	3	4	75.81	59.72
大阪東		119	120	0	1	0	1	3	94.81	78.64	
大阪東淀ちゃやまち		29	29	3	0	0	0	3	78.33	70.00	
大阪城東		42	44	5	2	0	2	4	90.00	84.00	
大阪中之島		27	28	2	1	0	1	3	90.47	70.23	
大阪大手前		34	36	5	2	0	2	4	90.78	80.70	
大阪城北		43	45	3	2	0	2	3	97.50	85.84	
大阪天満橋		62	62	0	0	0	0	3	85.83	79.50	
大阪鶴見		30	31	0	1	0	1	3	84.77	80.05	
大阪淀川		28	30	4	2	0	2	4	92.50	76.38	
新大阪		33	33	1	0	0	0	3	91.92	79.80	
小計		708	722	24	16	2	14		88.43	76.81	
I M 第 7 組		大阪フレンド	26	26	3	1	1	0	3	90.87	61.85
		大阪御堂筋本町	57	58	2	1	0	1	3	90.36	76.55
	大阪南	152	159	0	7	0	7	3	85.39	73.03	
	大阪難波	53	53	0	0	0	0	3	87.79	79.00	
	大阪なにわ	24	25	3	1	0	1	3	91.88	79.77	
	大阪南西	14	14	3	0	0	0	3	80.16	80.16	
	大阪西南	96	98	22	2	0	2	3	94.58	68.37	
	大阪船場	40	40	2	0	0	0	4	91.50	81.50	
	大阪心斎橋	38	39	0	1	0	1	4	96.76	84.15	
	大阪うつば	33	34	3	1	0	1	3	95.54	86.19	
	小計	533	546	38	14	1	13		90.48	77.06	
I M 第 8 組	大阪平野	31	32	2	1	0	1	3	100.00	94.44	
	大阪イブニング	12	12	2	0	0	0	2	91.67	70.83	
	大阪城南	50	51	0	1	0	1	4	99.43	92.61	
	大阪咲洲	17	16	1	0	1	-1	3	76.46	64.70	
	大阪天王寺	55	55	0	0	0	0	3	86.59	71.17	
	大阪帝塚山	51	51	4	0	0	0	3	84.50	76.06	
	大阪東南	48	48	0	0	0	0	3	95.58	69.45	
	大阪アーバン	26	27	7	1	0	1	3	88.89	93.83	
	大阪みおつくし	30	30	18	0	0	0	3	63.33	58.00	
	小計	320	322	34	3	1	2		87.38	76.79	

合 計	クラブ名	7月期初 会員数	月末会員 数	女性 会員 数	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率

文庫通信 (324号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演 他

- 「80歳エベレスト登頂～希望の奇跡」
三浦雄一郎 2014 8p (第42回ロータリー研究会報告書)
- 「世界遺産としての富士山」
井上輝夫 2014 3p (米山梅吉記念館館報)
- 「違うことはいいことだ」
大宅映子 2014 4p (D.2580地区大会の記録)
- 「ピンチをチャンスに！」
東国原英夫 2014 11p (D.2790地区大会記録誌)
- 「グローバル時代の企業経営」
張 富士夫 2014 4p (D.2760地区大会記録誌)
- 「『お金の世界』から『いのちの世界へ』」
菅野典雄 2014 16p (D.2510地区大会記録誌)
- 「『顔が赤くなる人は酒を飲むな』って…!?!」
岡村 健 2014 5p (福岡南RC月報)
- 「人間はいつ歳をとるのか」
牧田静二 1998 2p (月曜短信)
- 「天皇・皇后両陛下にお仕えして」
羽毛田信吾 2014 4p (D.2600下伊那グループIM&会員セミナー報告書)

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

2014-15年度 国際ロータリー 第2660地区 《組織図》

第二六六〇地区ガバナー

泉博朗 (大阪帝塚山)

村橋義晃 (大阪中之島)

川崎見壽 (大阪中央)

新田耕一 (大阪天王寺)

畑田樹 (大阪中)

木村芳樹 (大阪南)

磯田郁子 (大阪心齋橋)

五木千秋 (大阪心齋橋)

ガバナーエレクト

立本野進也 (大阪北)

地区幹事

代表幹事 川上富清 (大阪帝塚山)

副代表幹事 澤田純一 (大阪帝塚山)

ガバナー月信 渡邊弘一 (大阪帝塚山)

ガバナー月信 成山宗肇 (大阪帝塚山)

藤田誠一郎 (大阪帝塚山)

西尾宏 (大阪帝塚山)

東光宏 (大阪帝塚山)

井重典 (大阪帝塚山)

浅野重行 (大阪帝塚山)

井川敏行 (大阪帝塚山)

足立敏行 (大阪帝塚山)

片山一治 (大阪帝塚山)

樋口信治 (大阪帝塚山)

次年度代表幹事

地区財務委員会

財務委員長 小島康秀 (大阪帝塚山)

片岡基博 (八尾中央)

吉本友明 (大阪帝塚山)

辻本明 (大阪帝塚山)

会計

地区大会 実行委員会

実行委員長 板垣美一 (大阪帝塚山)

実行副委員長 竹川修司 (大阪帝塚山)

幹事 田邊千尋 (大阪帝塚山)

幹事 出川統士 (大阪帝塚山)

大会会計 小島康秀 (大阪帝塚山)

ホストクラブ会長 清水常雄 (大阪帝塚山)

地区研修・協議会ホスト

大阪帝塚山ロータリークラブ

米山記念奨学会

理事 若林紀男 (大阪東)

評議員 岩田宙造 (大阪南)

選考委員 大谷透 (大阪西南)

第3期ロータリーコーディネーター補佐

横山守雄 (大阪中央)

R1規定審議会

代表議員 横山守雄 (大阪中央)

補欠議員 大谷透 (大阪西南)

ロータリー日本財団監事

井上暎夫 (千里)

国際奉仕部門

顧問 横山守雄 (大阪中央)

国際奉仕委員会

◎安井一男 (新大阪)

○糸川千恵子 (大東中央)

○岩上高幸 (茨木西)

栗原大 (大阪フレンド)

小林哲 (吹田西)

木田昌宏 (吹田西)

嶽下勇治 (大阪中之島)

坂本勝男 (大阪なにわ)

宮崎正人 (高槻東)

前田要之助 (大阪東淀川)

ロータリー財団部門

顧問 大谷透 (大阪西南)

地区財団監査委員会

◎岡部泰鑑 (大阪城南)

五味千秋 (大阪心齋橋)

山下勝弘 (東大阪)

ロータリー財団委員会

◎溝畑正信 (東大阪東)

○宮里唯子 (茨木西)

松下和彦 (八尾中央)

木村芳樹 (大阪南)

片岡利雄 (大阪南)

四宮孝郎 (大阪西南)

辻川功一 (大阪中央)

※PHSコーディネーター

地区補助金・グローバル補助金担当グループ

◎大野康裕 (大阪北)

山本博史 (大阪南)

紙谷正行 (吹田)

長屋興 (吹田西)

吉田政雄 (茨木)

塩野秀作 (大阪南)

今西良介 (大阪南)

小林和由 (大阪咲洲)

奨学金・学友・R平和フェロシップ担当グループ

◎阪上博史 (茨木東)

○宮里唯子 (茨木西)

○吉城直孝 (東大阪)

岩橋竜介 (東大阪中央)

土方慶之 (茨木)

木下恵美子 (大阪イブニング)

萬年成泰 (千里)

大谷隆英 (大阪柏原)

職業研修チーム担当グループ

◎川本典美 (大阪ネクスト)

○水島洋 (千里メイプル)

松本浩一 (大阪北)

品川芳洋 (八尾東)

栗山博道 (大阪中之島)

三木元昭 (大阪大手前)

細川祐介 (大阪南)

米山奨学部門

顧問 岩田宙造 (大阪南)

米山奨学委員会

◎近藤菜穂子 (大阪ネクスト)

○福田治夫 (守口イブニング)

○田中隆弥 (池田くれは)

○古城紀雄 (千里)

○古島井宏子 (大阪北梅田)

北山治信 (東大阪みどり)

三木得生 (豊中南)

堀田修平 (枚方)

堀隆 (大阪東)

岡部倫正 (大阪城南)

吉馴茂子 (大阪アーバン)

西谷雅之 (大阪城南)

中川和之 (大阪船場)

鹿浦英毅 (大阪北)

石井博章 (吹田)

資金推進小委員会

◎松下和彦 (八尾中央)

○檜皮悦子 (大阪中之島)

今西敦之 (八尾)

吉田悦治 (大阪大淀)

山村幸久 (大阪梅田東)

秋元貞夫 (大阪堂島)

ポリオプラス小委員会

◎木村芳樹 (大阪南)

○杉村雅之 (大阪中之島)

○山片重房 (東大阪みどり)

宮本里恵 (大阪アーバン)

三好えり子 (大阪そねざき)

榊原春枝 (大阪柏原)

松井研次 (大阪東南)

地区財団資金管理小委員会

◎片岡利雄 (大阪南)

○和氣主 (大阪北梅田)

天野正亮 (東大阪東)

補助金小委員会

◎四宮孝郎 (大阪西南)

顧問 岡部泰鑑 (大阪城南)

危機管理委員会

◎岡部泰鑑 (大阪城南)

◎立野純三 (大阪)

○岩津陽介 (大阪御堂筋本町)

井上善博 (東大阪みどり)

山本和良 (大阪南)

山本武信 (大阪南)

山本喬一 (大阪天満橋)

近藤菜穂子 (大阪ネクスト)

阪上博史 (茨木東)

川本典美 (大阪ネクスト)

上場俊哉 (高槻東)

松井圭子 (大阪アーバン)

林邦彦 (大阪西)

菅沼清高

畑山博史

災害支援委員会

◎福家宏 (八尾中央)

○立野純三 (大阪)

○宮里唯子 (茨木西)

溝畑正信 (東大阪東)

川上大雄 (大阪ニハルシティ)

初木賢司 (くずは)

丹羽健二 (大阪西南)

村橋義晃 (大阪中之島)

脇隆俊 (大阪御堂筋本町)

安井一男 (新大阪)

小林和由 (大阪咲洲)

2016年規定審議会・地区委員会

◎横山守雄 (大阪中央)

○大谷透 (大阪西南)

◇川崎壽 (大阪中央)

岩田宙造 (大阪南)

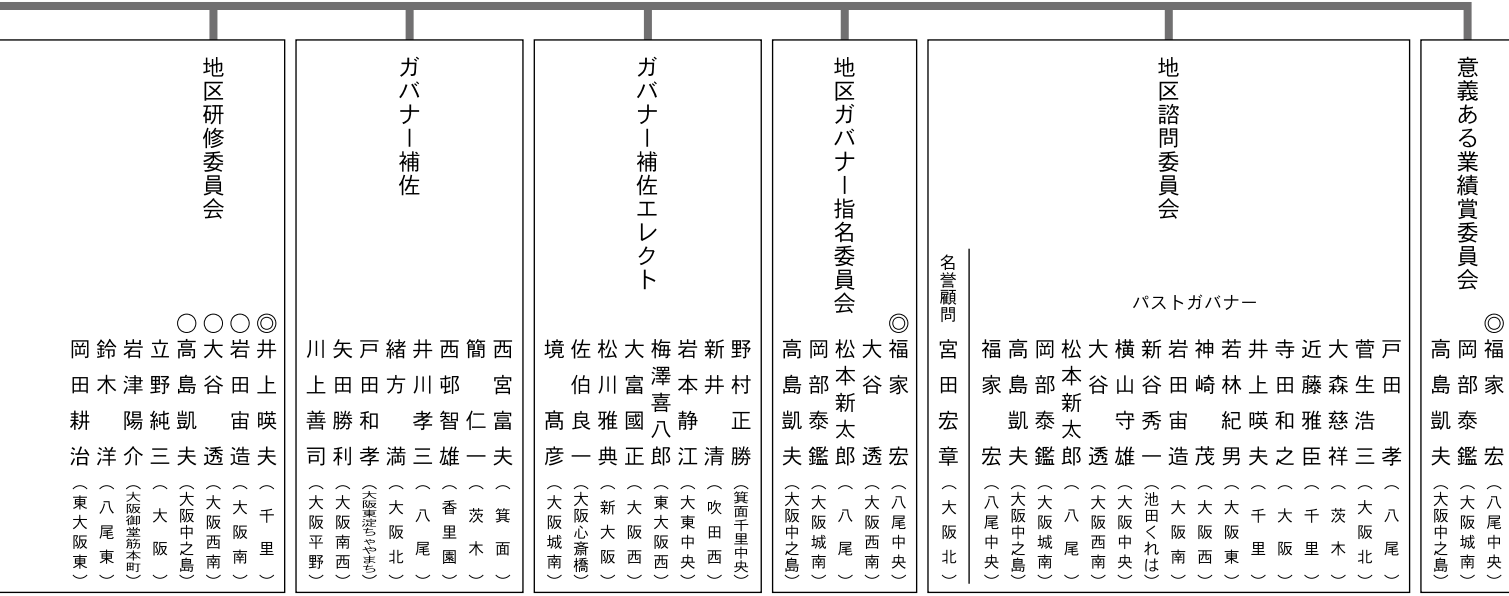
福家宏 (八尾中央)

立野純三 (大阪)

川上富清 (大阪帝塚山)

※委員会構成に変更が生じたので、再度掲載します(10月1日現在)

国際 ロータリー	会長	ゲイリー・C.K. ホアン
	会長エレクト	K.R. “ラビ” ラビンドラン
	理事	北 清治・杉谷 卓紀



青少年奉仕部門

顧問 岡部 泰 鑑 (大阪城南)

- 青少年合同委員長会議**
- ◎ 岡部 泰 鑑 (大阪城南)
 - 近藤 菜穂子 (大阪ネクスト)
 - 川本 典美 (大阪ネクスト)
 - 阪上 博史 (茨木東)
 - 山本 喬一 (大阪天満橋)
 - 井上 善博 (東大阪みどり)
 - 山本 和良 (大阪南)
 - 鮫島 武信 (大阪南)

- 青少年活動委員会**
- ◎ 井上 善博 (東大阪みどり)
 - 庄司 修二 (箕面)
 - 松本 晴充 (大阪中央)
 - 高橋 一雅 (大阪北)
 - 西本 健二 (吹田江坂)
 - 石川 益三 (大阪難波)
 - 池田 文治 (大東中央)
 - 石井 正人 (大阪フレンド)
 - 西崎 哲弘 (大阪城北)
 - 瓦谷 勝 (大阪西南)
 - 阿部 洋治郎 (大阪平野)
 - 齋藤 清貴 (大阪ユニバーシティ)

- インターアクト委員会**
- ◎ 鮫島 武信 (大阪南)
 - 西 秀樹 (八尾)
 - 東村 正剛 (大東)
 - 松井 隆雄 (大阪天王寺)
 - 小泉 祐助 (大阪)
 - 水取 孝司 (大阪天王寺)
 - 小池 貢 (大阪帝塚山)
 - 田中 康正 (八尾)
 - 空門 満也 (大東)

社会奉仕部門

顧問 高島 凱夫 (大阪中之島)

- 社会奉仕委員会**
- ◎ 脇 隆 俊 (大阪御堂筋本町)
 - 中嶋 英貴 (大阪鶴見)
 - 滝川 博嗣 (門真)
 - 中山 正隆 (大阪リバーサイド)
 - 奥谷 英夫 (千里)
 - 竹田 伸 (大阪難波)
 - 小林 知義 (大阪ユニバーシティ)
 - 溝手 悟 (大阪天満橋)
 - 木崎 信也 (くずは)
 - 服部 潤承 (池田くれは)
 - 望田 成彦 (摂津)
 - 塩尻 明夫 (大阪船場)

- ロータリーアクト委員会**
- ◎ 山本 和良 (大阪南)
 - 丸尾 照二 (大阪御堂筋本町)
 - 松尾 治 (東大阪西)
 - 久保 義誓 (茨木)
 - 栗村 卓家 (大阪西)
 - 柳田 雅範 (東大阪)
 - 末松 大幸 (大阪淀川)
 - 田中 実 (大阪北)
 - 井上 智裕 (守口)
 - 山本 博之 (大阪東)
 - 拙 律子 (大阪西南)
 - 坂田 淳一 (枚方)
 - 羽 鳥 敬彦 (大阪)

職業奉仕部門

顧問 松本 新太郎 (八尾)

- 職業奉仕委員会**
- ◎ 北川 忠嗣 (東大阪東)
 - 岡本 雄介 (大阪大手前)
 - 田中 徳彦 (大阪西南)
 - 木越 正司 (大阪西)
 - 庄野 晋吉 (大阪)
 - 黒松 克行 (大阪城東)
 - 朝倉 通憲 (高槻)
 - 河合 秀行 (大阪西北)
 - 高杉 英一 (大阪)
 - 只井 恒満 (大阪西)
 - 林 宏毅 (くずは)
 - 長谷 裕代 (大阪大手前)
 - 関谷 洋子 (豊中)
 - 濱中 真希子 (大阪北梅田)

- ロータリーフェスティバル実行委員会**
- ◎ 近藤 雅臣 (千里)
 - 片山 一步 (大阪帝塚山)
 - 上場 俊哉 (高槻東)
 - 五味 千秋 (大阪心齋橋)
 - 栗原 大 (大阪フレンド)
 - 小林 澄子 (大阪イブニング)
 - 近藤 菜穂子 (大阪ネクスト)
 - 山本 和良 (大阪南)
 - 平田 治 (大阪アーバン)
 - 出口 統士 (大阪帝塚山)

クラブ奉仕部門

顧問 福家 宏 (八尾中央)

- クラブ奉仕・拡大増強委員会**
- ◎ 福田 忠博 (大阪中之島)
 - 新居 誠一郎 (大阪南)
 - 峠本 敏夫 (交野)
 - 榎本 桂子 (寝屋川)
 - 中平 公士 (大阪東)
 - 松崎 達郎 (大阪東南)
 - 中島 武 (大阪みおつくし)
 - 小山 章松 (大阪船場)
 - 西尾 誠一郎 (大阪大淀)
 - 橋本 善治 (茨木西)

- 広報委員会**
- ◎ 上場 俊哉 (高槻東)
 - 松任 保勇 (大阪中之島)
 - 石田 秀 (大阪西南)
 - 岡村 剛行 (大阪東)
 - 林 邦彦 (大阪西)
 - 梅原 一樹 (大阪中之島)
 - 小西 康二 (豊中千里)
 - 猪俣 由宇 (高槻東)
 - 藤田 和美 (大阪西南)
 - 深江 慎介 (大阪フレンド)

◎: 委員長もしくはリーダー
 ○: 副委員長もしくはサブリーダー
 ◇: 幹事
 ※青少年合同委員長会議においては
 ◎: 議長

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

高折忠太 会員（大阪大手前RC）

2014年7月30日 逝去（享年90歳）

会長、理事、
クラブ奉仕委員長、ソング委員長、
会員選考委員長、会員増強委員長

米山功労者（マルチプル）
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター

お知らせ

■事務局移転

八尾中央ロータリークラブ

〒581-0869 大阪府八尾市桜ヶ丘1-88 ベルドミール桜ヶ丘 203号室

※電話番号・FAX・メールアドレスに変更はありません。

東大阪中央ロータリークラブ

〒543-0031 大阪市天王寺区石ヶ辻町2-8 クレアツィオーネ上本町 704号

※電話番号・FAX・メールアドレスに変更はありません。

■お詫びと訂正

月信9月号2ページに間違いがありましたので、お詫びして訂正いたします。

右段の26行目 （誤）イラ → （正）ライラ

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 泉 博朗 (大阪帝塚山RC)
- 地区代表幹事 川上 富清 (大阪帝塚山RC)
- 地区副代表幹事 新井 文三 (大阪帝塚山RC)
- 担当地区幹事 澤田 正實 (大阪帝塚山RC)
- 担当地区幹事 渡邊 純一 (大阪帝塚山RC)
- 事務局長 栗正 久美

2014-2015年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	泉 博朗
地区代表幹事	川上 富清
地区副代表幹事	新井 文三
事務局長	栗正 久美
事務局員	井上 望美
	加茂 春日
	池田 華江

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日
年末年始
2014年12月29日(月)~
2015年 1月 2日(金)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

地区大会

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

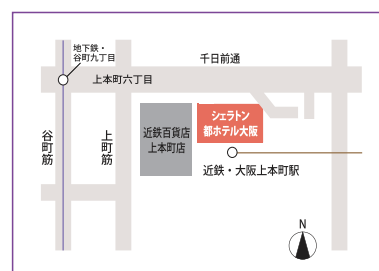


英知を集めて
未来を築こう
今、羽ばたこう
未来に向かって

第1日目

2014年 12月5日 **金**
シェラトン都ホテル大阪

開会式 14:00 開会
分科会 15:20 開会
家族の集い 15:20 開会
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 .. 18:00 開宴

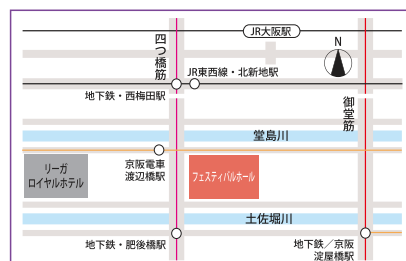


シェラトン都ホテル大阪

第2日目

2014年 12月6日 **土**
フェスティバルホール

本会議 13:20 開会
特別企画 記念コンサート



フェスティバルホール



日本を代表するアーティストによる
音楽ライブをお楽しみください



国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階

TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan

TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp